



18.GX形の接合や切管挿し口加工に必要な工具は、NS形の同施工に使用するものと変わのでしょうか？また、NS形で使用する工具のなかでGX形に使用できるものはありますか？



GX形の施工時に必要な工具を以下に示します。



1.GX形の接合に必要な工具

(1)NS形呼び径250以下で使用する工具のなかでGX形に使用できる工具

- ①プラスチックハンマ
- ②スリングベルト(4本):吊り具として使用しているナイロンスリングで代用が可能です。
- ③レバーホイスト(0.8 t f 用 2個):管との接触部はゴム板などで養生してください。
- ④ラチェットレンチ(異形管用)

⑤ロックリング絞り器

(2)新規に準備が必要な工具

- ①ゴム輪位置チェックゲージ(直管、P-Link用):厚さ2mm～4mm
- ②インパクトレンチ(異形管用)
- ③ユニバーサルジョイント(異形管用):屈曲角30°
- ④隙間ゲージ(異形管、P-Link用):厚さ0.5mm
- ⑤ロックリング拡大器(異形管用)

2.GX形の切管に必要な工具

GX形の切管は、P-LinkやG-Linkを用いる方法と、NS形と同様に切管用挿し口リングを使用して、挿し口突部を形成する方法があります。P-LinkやG-Linkを用いる方法では全てNS形の施工工具を使用できます。

(1)P-Link、G-Linkを用いる場合

- ①切断機
- ②グラインダ・面取りヤスリ
- ③トルクレンチ:トルク100N・m

(2)切管用挿し口リングを使用する場合

1) NS形呼び径250以下で使用する工具のなかでGX形に使用できる工具

- ①専用の溝切機・切断機
- ②挿し口リング拡大器
- ③シャコ万力
- ④専用ストッパ付ドリル刃
- ⑤ドリル
- ⑥グラインダ・面取りヤスリ
- ⑦ブラスドライバ(呼び番号2番)

2) 新規に準備が必要な工具

- ①チェックゲージ

3.GX形の解体に必要な工具

(1) NS形呼び径250以下で使用する工具のなかでGX形に使用できる工具

- ①解体矢
- ②特殊割押輪
- ③油圧ジャッキまたはだるまジャッキ
- ④解体矢打込みキャップ
- ⑤ハンマ

(2) 新規に準備が必要な工具

- ①薄板(P-Link、G-Link用)

なお、管を吊る時は、従来管と同様にナイロンスリングやゴムチューブなどで被覆されたワイヤーロープを用いてください。